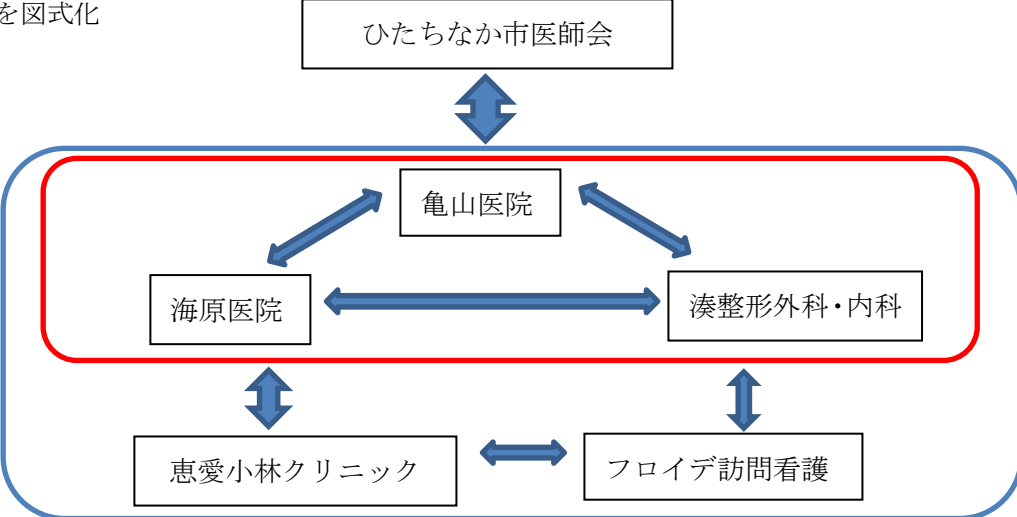


※本票（別添 1 - 2）は公表資料として活用する。（取組状況に応じて随時、修正するものとする）。

令和 4 年度茨城県医療提供施設等グループ化推進事業計画（報告）書

※これから在宅医療への参入又は拡充に取り組む医療機関等の連携強化を支援する取り組みについて記載するものとする。
 なお、必要に応じ、後方支援病院や在宅医療専門診療所（機能強化型在宅療養支援診療所を含む）などの支援（補完）を得て、在宅医療を提供する切れ目のない診療体制の仕組みづくりに取り組むものである。

【地域で支え合う医療機関等の連携体制を構築するために必要な 3 つの取組】

取組事項	取組内容	現 状 (補助金交付申請の前月から過去 6 箇月間の状況)	計 画 (補助金交付申請の月から翌年 3 月末までの取組)	実 績 (補助金交付申請の月から翌年 3 月末までの取組)
<p>1 グループ化した医療機関等を支える取組 ※グループ内の取組に関すること。</p>	<p>①事務局、調整機能を担う方：ひたちなか市医師会 ②打ち合わせ等の内容・開催方法・回数・参加機関等： ・在宅医療同行訪問指導・実習・2 回・グループ内の医療機関等 ③体制作りのための取組内容等： ・ひたちなか市医師会は、グループ化事業の管理及び本事業に参入する医療機関等との連携に取り組むうえで、電子@連絡帳による機能的な ICT 化を進めることを目的として、タブレット（またはノートパソコン）を購入します。また、購入したタブレット（またはノートパソコン）については、医療機関が在宅に赴き診療を行う際にも必要時貸し出すものとし、その管理はひたちなか市医師会事務局が行います。 ・24 時間連絡体制が必要な症例に対しては、患者様からのファーストコールを、恵愛小林クリニックの訪問看護（那珂湊地区）又は他グループに所属する訪問看護ステーション（那珂湊地区以外）が協力して対応し、必要に応じて医師に連絡する体制を構築しています。 ・入院が必要となった症例は、恵愛小林クリニックに積極的な受け入れを依頼し、救急時の連携を速やかに行います。 ・在宅医療提供に係る知識、技術の向上の為、訪問診療を行う医療機関より派遣された医師が在宅医療の経験の深い医師から同行訪問指導を受け、実習を行います。</p>	<p>○ 連携体制を図式化</p> 	<p>・同行実習 年 2 回</p>	<p>・同行実習 年 0 回</p>
<p>2 患者・家族を中心とした在宅医療を推進するための取組 ※地域との連携に関すること。</p>	<p>①事務局、調整機能を担う方：ひたちなか市医師会 ②打ち合わせ等の内容・開催方法・回数・参加機関等： ・研修会（ひたちなか市主催、多職種協働のための意見交換会）・オンライン開催・テーマ：「在宅医療・介護連携に関する講演会～2 3 年間の在宅医療を通して見えてきたこと、伝えたいこと～」・1 回（R4.9.15 開催）・市内医療機関、介護事業者等 ・打ち合わせ（電子@連絡帳講習）・オンライン開催・1 回・グループ内の医療機関等 ③グループ内の取組課題を地域に提案、地域で解決に向けた取組等： ・地域との連携推進のため、ひたちなか市が主催する医療・介護関係者の研修会に参加し、多職種での顔の見える関係作りや情報共有の場とします。 ・電子@連絡帳のプロジェクト機能を活用し、地域包括支援センターや介護支援専門員等関係機関とシームレスな連携を図ります。また、連携に際しては、事前に患者の同意を得た上で、電子@連絡帳に患者登録を行い、必要最小限の基本データが閲覧できるようにします。</p>	<p>・研修会 年 0 回 ・打ち合わせ 年 1 回</p>	<p>・研修会 年 1 回 ・打ち合わせ 年 1 回</p>	<p>・研修会 年 1 回 ・打ち合わせ 年 1 回 (3/23)</p>
<p>3 在宅医療についての普及啓発活動等の取組を行う取組</p>	<p>記載のポイント（主催、誰が・誰に対して行うのか、開催頻度、取組内容） ・過年度作成した在宅医療や多職種連携による支援についてのパンフレット、人生会議の啓発のチラシ・ポスターを、市内の診療所及び訪問看護ステーションにおいて掲示・配布する事で、患者・家族等に対し在宅医療についての普及啓発活動を実施していきます。</p>	<p>・普及啓発活動の継続実施</p>	<p>・普及啓発活動の継続実施</p>	<p>・普及啓発活動の継続実施</p>

※「参入促進・連携（グループ化）の取組効果」の公表の取扱いについて、1から2の事項については個々の医療機関の情報は公表せず、連携する医療機関内の合計数を公表する。また、3の事項（死亡患者数）については公表の対象とせず、医療機関からの報告のみとする。

【参入促進・連携（グループ化）の取組効果】

1 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数（※実人数を記載）

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状 (補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	計 画 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)	実 績 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数（※実人数を記載）	・亀山医院	0名	1名	0名
	・海原医院	0名	1名	0名
	・恵愛小林クリニック	78名	80名	20名
	・湊整形外科・内科	0名	1名	0名
	連携する医療機関内の合計	78名	83名	20名

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数（※実人数を記載）を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

2 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計回数

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状 (補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	計 画 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)	実 績 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計回数	・亀山医院	合計回数: 0回(うち往診: 0回、訪問診療: 0回)	合計回数: 7回(うち往診: 1回、訪問診療: 6回)	合計回数: 0回(うち往診: 0回、訪問診療: 0回)
	・海原医院	合計回数: 0回(うち往診: 0回、訪問診療: 0回)	合計回数: 7回(うち往診: 1回、訪問診療: 6回)	合計回数: 0回(うち往診: 0回、訪問診療: 0回)
	・恵愛小林クリニック	合計回数:162回(うち往診: 6回、訪問診療:156回)	合計回数:168回(うち往診: 8回、訪問診療:160回)	合計回数: 160回(うち往診: 6回、訪問診療:154回)
	・湊整形外科・内科	合計回数: 0回(うち往診: 0回、訪問診療: 0回)	合計回数: 7回(うち往診: 1回、訪問診療: 6回)	合計回数: 0回(うち往診: 0回、訪問診療: 0回)
	連携する医療機関内の合計	合計回数:162回(うち往診: 6回、訪問診療:156回)	合計回数:189回(うち往診: 11回、訪問診療:178回)	合計回数: 160回(うち往診: 6回、訪問診療:154回)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計回数を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

3 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状 (補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	実 績 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数に占める死亡患者数	・亀山医院	死亡患者数: 0名(うち医療機関以外: 0名)	死亡患者数: 0名(うち医療機関以外: 0名)
	・海原医院	死亡患者数: 0名(うち医療機関以外: 0名)	死亡患者数: 0名(うち医療機関以外: 0名)
	・恵愛小林クリニック	死亡患者数: 4名(うち医療機関以外: 4名)	死亡患者数: 5名(うち医療機関以外: 5名)
	・湊整形外科・内科	死亡患者数: 0名(うち医療機関以外: 0名)	死亡患者数: 0名(うち医療機関以外: 0名)
	連携する医療機関内の合計	死亡患者数: 4名(うち医療機関以外: 4名)	死亡患者数: 5名(うち医療機関以外: 5名)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

4 グループ化した医療機関が後方支援病院等（グループ内外問わず）への在宅医療患者の診療の紹介数、急変時の受入数及び後方支援病院等からの逆紹介数

	現 状 (グループ化前 (R3年度 (A)))	実 績 (グループ化後 (R4年度 (B)))	差 (B) - (A)
紹介数	4件	0件	4件
急変時の受入数	2件	0件	2件
逆紹介数	2件	0件	2件